

「日中植林・植樹国際連帯事業」(令和2年度中国高校生招へい事業)
事業概要・依頼内容

外務省が推進する日中植林・植樹国際連帯事業の一環として、2020年度は、中国から高校生計700名を招へいし、日本各地で学校交流(高等学校訪問)を実施いたします。(平成27年度補正予算事業)

下記の通り、中国高校生の学校交流につき、お受け入れ頂ける高等学校を募集します。

記

1. 趣旨:

中国の高校生を訪日招へいし、植樹活動、環境及び防災に関するセミナー、関連施設の視察等を行い、中国高校生の環境及び防災意識の啓発を図るほか、高校訪問や各地視察等を通じ、日中両国青少年の友好促進、対日理解の一層の促進を図る。

2. 主管団体: 公益財団法人日中友好会館

招へい・実施は主管団体又は主管団体が委託する実施団体が行います。

3. 被招へい者: 中国教育部より派遣された各地域の中国高校生

4. 来日時期・招へい人数:

① 2020年度中国高校生訪日団第1陣 250名

10月13日(火)～10月21日(水)

うち学校交流受け入れ日程 10月16日(金)もしくは10月19日(月)のいずれか一日

② 2020年度中国高校生訪日団第2陣 250名

11月10日(火)～11月18日(水)

うち学校交流受け入れ日程 11月13日(金)もしくは11月16日(月)のいずれか一日

③ 2020年度中国高校生訪日団第3陣 200名

12月8日(火)～12月16日(水)

うち学校交流受け入れ日程 12月11日(金)もしくは12月14日(月)のいずれか一日

5. 依頼内容:

中国高校生の学校交流(高等学校訪問)の受け入れ。

(1) 訪問時間: 終日交流(10:30～17:00 想定)を希望します。

午後のみ半日交流でも可ですが、終日交流可の学校が優先されます。

※具体的な訪問時間は受入決定後に実施団体と相談して決定。

※お受け入れ希望日については、文化祭や運動会等の学校行事が行われる予定の日を避けご検討ください。

(2) 受け入れ人数: 1校あたり30名(バス1台)

※30名受け入れが難しい場合、1校あたり15名の受け入れでも可。

但し、30名受け入れ可の学校が優先されます。

(3) 内 容: ①日本高校生との交流会、授業参加、部活動参加

②環境・防災に関するプログラム

③記念植樹

※①・②は必須。さらに③が実施可の学校が優先されます。

(4) プログラム構成について

日本高校生との交流会、授業参加、部活動参加を主要プログラムとしますが、中国高校生（または日中の高校生）の環境または防災意識を高めることを目的とし、全体プログラムの一部に、環境または防災に関するプログラムを盛り込むようお願いします。

また、中国高校生の日本滞在中、2回ある学校交流のうち1回の学校交流にて、本事業の訪日団訪問を記念し、校内での記念植樹実施をお願いしています。記念植樹の実施の可否をお知らせください。記念植樹実施不可でも応募は可能ですが、受け入れ校決定にあたっては、植樹可の学校が優先されます。

プログラム詳細は実施の段階で、実施団体と相談の上、調整して頂きます。

①日本高校生との交流、授業参加等（主要プログラム）

訪問校のカリキュラムの中で、日本高校生との交流会、授業参加、部活動参加をご検討願います。

②環境・防災に関するプログラム（1コマで可）

訪問校にて、環境または防災に関するプログラムをご検討願います（環境または防災のいずれか1つで可）。以下は参考例ですので、この限りではありません。但し、学校内での実施を原則とします。

<環境に関するプログラム例>

- ・学校行事や授業等で取り組んでいる環境学習や環境保全活動の紹介
例：学校内での自然観察や環境保全活動
大気や水質の調査
ビオトープ作りや生物の調査
リサイクル活動、ゴミ分別運動、校内美化活動
- ・環境保護に対応した校内施設（緑化、太陽光システム等）の見学
- ・環境をテーマとした日中高校生によるディスカッション、発表
- ・英語の授業で環境をテーマとしたクイズを行いグループディスカッションする等

<防災に関するプログラム例>

- ・防災設備、防災備蓄品の紹介を含めた校内見学
- ・避難訓練や防災に関する取り組みの紹介
- ・炊飯袋等を活用した災害食体験
- ・防災をテーマとした日中高校生によるディスカッション、発表等

③記念植樹

訪日団の学校訪問を記念し、校内で記念植樹（1本～数本）を実施。

例：・ 歓迎セレモニー終了後、日中高校生代表が校内に記念植樹。植樹後、記念撮影。

- ・ 交流会の一環として、日中高校生が校内に記念植樹。

※実際の受け入れ人数は引率を含め若干名増加する予定です。

※訪日団には、実施団体事務局（通訳含む）が同行します。

※訪問する中国高校生は英語が堪能な生徒を選抜しています。

※訪問する中国高校生は男子生徒と女子生徒どちらも含まれます。

※中高一貫校でのお受け入れでは、交流相手が高校生となるようご調整願います。

※移動、宿泊及び終日交流の場合の訪日団の昼食の手配は、実施団体が行います。

6. 経費:

本交流に関わる経費(記念植樹に関する費用を含む)は、実施団体が負担いたします(但し、支払い制限有り。記念植樹活動の経費は概ね10万円までを想定)。詳細につきましては、実施の段階でご案内致します。

7. 新型コロナウイルス感染拡大による本事業への影響と対応について:

本事業は、招聘時期において、中国国内及び日本国内での新型コロナウイルス感染が収まっていること前提として計画するものです。各陣ともに来日3か月前の時点で、両国での新型コロナウイルス感染の状況を確認した上で、中国側派遣機関及び外務省と協議し、招聘の可否を決定します。状況によっては、招聘中止により、学校交流をキャンセルする可能性がありますこと、予めご了承願います。

8. 連絡先:

公益財団法人日中友好会館 総合交流部 行平 紀子

〒112-0004 東京都文京区後楽 1-5-3 TEL: 03-5800-3749 FAX: 03-5800-5472

E-MAIL: yukihira@jcfc.or.jp (行平)

携帯電話: 090-5440-1880 (行平)

なお、政府の緊急事態宣言発令中のご連絡は上記メールまたは携帯電話にご連絡ください。

※別紙(1~6)のデータ(WORD/EXCEL)が必要な場合は、上記8の連絡先担当者までご連絡ください。

以上